

令和6年度

学 力 向 上 プ ラ ン  
【後期】

上尾市立西中学校

# 上尾市立西中学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

## 学校教育目標

- 主体的に考える生徒
- 人間性豊かな生徒
- 他者と協働できる生徒

## 学校課題研究主題

「未来に夢を持ち持続可能な社会をつくる生徒の育成」～ESD の資質能力の育成に向けた中学校カリキュラムの充実～

## 学力・学習状況調査の結果

R6 全国学力・学習状況調査	R6 埼玉県学力・学習状況調査	R5 上尾市立小・中学校学力調査
<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率について、国語では全国平均を上回っているが数学では全国平均と同程度である。</li> <li>国語では、話すこと・聞くことに関する思考力を問う問題の正答率が埼玉県平均を下回っている。</li> <li>数学では、数と式や図形の性質を説明する問題の正答率が埼玉県平均を下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力レベルの伸びの平均は、国語が1レベル、数学が0.5、英語が2レベルである。</li> <li>埼玉県に比べ、平均の学力レベルは国語と英語が上回っているが数学は同レベルである。</li> <li>学力を伸ばした割合は1年生の数学と2年生の国語において、埼玉県の平均に比べて上回っている。</li> <li>学習方略では、3学年はプランニングや努力調整が埼玉県平均より低い。</li> </ul>	<p>【1学年】国語と数学では目標値と比べて平均を上回っているか同程度である。特に国語では「書くこと」「思考・判断・表現」「話すこと・聞くこと」、数学では「関数」「比例・反比例」が上回っている。英語は態度の項目が目標値を下回っている。</p> <p>【2学年】国語と英語は全項目で目標値を上回っている。数学は活用と態度の項目が下回っている。</p>

## 本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
<ul style="list-style-type: none"> <li>①確かな学力を習得するための基礎・基本の力</li> <li>②得た知識を活用する方法を知り、様々な場面で応用できる力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>③さまざまな事象、論理を考え合わせ理解する力</li> <li>④自分の意見や考えを述べたり、発表したりする力</li> <li>⑤自分の考えを他者と互いに伝え合い、考えを深める力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑥粘り強く学習に取り組み、自らの学習の見通しを立てたり、振り返ったりする力</li> <li>⑦自己理解・他者理解を通し、互いを認め合い、学び合う力</li> </ul>

## 学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
<p>[わかる授業の展開]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時の復習を含む授業の導入や課題提示の工夫を行う。</li> <li>生徒の理解度を把握し、授業改善を行う。</li> <li>適切な評価と支援、評価規準に達しない生徒への具体的な支援を行うことで、基礎・基本の確実な定着を図る。</li> </ul> <p>[家庭との連携]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題集やプリント等、定期的に宿題を課し、基礎・基本の確実な定着を図る。</li> </ul>	<p>[伝え合い、学び合いの工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを根拠をもってまとめ、他の人に発信する場面を多くもつなど、話し合い活動を充実させることで主体的・対話的で深い学びを推進する。</li> <li>他者の意見を聞き、自分の考えを深める活動を設定する。</li> </ul>	<p>[ほめる教育の推進]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己効力感を高め、困難な課題にも諦めずに取り組み、学習意欲の向上につながるよう良さを認め合う教育を行う。</li> </ul> <p>[生徒の主体的な学習の推進]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒に課題意識をもたせ、主体的に授業に取り組めるようはたらきかける。</li> <li>ねらいに結び付け、生徒の興味・関心を高めるために、効果的にICTを活用する。</li> </ul>

## 本校の特色ある取組

- 根拠をもった話し合い活動を重視した授業展開
- SDGsの取組を通じた進路指導・キャリア教育の充実
- 生徒が主体的に行動できるような、あいさつや場に応じた言葉遣いの指導の徹底

## 家庭教育との連携

- [家庭学習の習慣化]
- 家庭学習の習慣化、定期テストの学習計画の作成
- [保護者との連携]
- 学校の教育活動の情報発信
- さくら連絡網の活用

## 2 学力向上を図る取組

### (1) 各教科の授業における取組

#### 本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①確かな学力を習得するための基礎・基本の力 ②得た知識を活用する方法を知り、様々な場面で応用できる力	③さまざまな事象、論理を考え合わせ理解する力 ④自分の意見や考えを述べたり、発表したりする力 ⑤自分の考えを他者と互いに伝え合い、考えを深める力	⑥粘り強く学習に取り組み、自ら学習の見通しを立てたり、振り返ったりする力 ⑦自己理解・他者理解を通し、互いを認め合い、学び合う力

教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、⑤	①国語の基礎となる漢字・文法の小テストの実施 ⑤話し合い活動の場を増やし、目標に沿った学び合いができる環境の充実	
社会	①、④	①前時の振り返りや小テスト、復習の実施 ④グループや個人での発表の場面の増加	
数学	①、⑥	①基礎・基本の定着を図る反復学習の導入 ⑥課題解決に向けて、個人で考える力、話し合う力、根拠をもとに説明する力の育成	
理科	③、④	③考察時に根拠をもった話し合い活動の場面の増加 ④目標に沿った学び合いができる環境の充実	
外国語	①、④	①音読を通して音声と文字の一致を定着させ、既習事項を用いた対話活動の充実 ④テーマに沿って自分の考えを主体的に簡潔に述べる活動の実施	
音楽	①、⑤	①楽譜の見方や音楽用語を適宜振り返る活動の実施 ⑤演奏の振り返りや曲の特徴を捉える活動の実施	
美術	①、⑤	①短時間課題を取り入れ、多くの題材を制作することで、基礎となる知識や技能だけではなく色の知識や技法定着に向けた取組の実施 ⑤鑑賞会の時に、「美術のことば」集を配り、作品のよさや工夫などを具体的に分かりやすく伝える活動の実施	
技術	①、④	①課題を明確にさせ、基礎・基本の定着 ④学習内容が社会の中でどう活かされるかについてのグループ討議や話し合い活動の充実	
家庭	①、⑥	①家庭科に関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な技術の定着 ⑥ICT端末を活用して視覚的に提示し、見通しを持たせ、学習意欲を高める活動の充実	

保健体育	① ⑤	①運動の特性に触れるために、各種目の感覚練習やスモールステップを行うことでの基本的な技能の定着 ⑤自分ができるだけにとどまらず、互いにアドバイスをしながら、全体で共有する場の確立	
特別の教科 道徳	⑤、⑦	⑤⑦ねらいとする価値について、個人で考えたことを伝え合う活動の実施	



A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

## (2) 教育活動全体を通じた取組

### 本校の特色ある取組

①あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回、教師と生活委員会による「朝の挨拶運動」の実施</li> <li>・学期に1回、地域・保護者による「朝の挨拶運動」を実施</li> </ul>
②読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日10分間の朝読書を実施</li> <li>・図書委員会による読書月間の取組</li> <li>・共有スペースを利用した本棚の設置</li> <li>・毎学期、読書週間を設けることによる活動を通じた、本と触れ合う機会の設定</li> </ul>
③小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育として、夏季休業中に西中学校区内の課題である「挨拶」「正しい言葉遣い」「授業態度・授業規律」「話し合い活動」について、現状の共有や共通の取組事項の協議</li> <li>・西中学校区での教員による授業参観の実施</li> <li>・小学生の授業・部活動見学、中学校教師による出前授業の実施</li> </ul>
④話し合い活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠をもった話し合い活動の場の設定と主体的・対話的で深い学びのある授業の推進</li> </ul>

### 家庭教育との連携

①家庭学習の習慣化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト前に立てた学習計画の実行と振り返り</li> <li>・全家庭にへのシラバスの配布</li> <li>・家庭学習の習慣の定着に関する家庭への啓発</li> </ul>
②保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級、学年、学校だよりなどの通信の発行、学校HPやさくら連絡網を活用した情報発信</li> <li>・さくら連絡網による欠席連絡やアンケート機能の活用</li> </ul>